

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第3,4学年 第5,6学年	保健・301 保健・501	新しいほけん3・4 新しい保健5・6
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「健康な生活」については、実験結果を基に体を清潔にする理由を考えたり、健康に過ごすための友達へのアドバイスを考えたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現する。</p> <p>「体の発育・発達」については、自分の身長の変化や発育の個人差について調べたり、体をよりよく発育させるための生活に向けて実行したいことを考えたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現する。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」については、心と体が影響し合っていることについて考えたり、不安や悩みへの対処をするとともに、課題を見付け、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。</p> <p>「けがの防止」については、けがや事故の原因について考えたり、事例の場面で予測される危険や回避する方法について考えたりする活動を通して理解し、けがなどの簡単な手当をするとともに、けがを防止するために危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p>「病気の予防」については、感染症や生活習慣病の予防の仕方について考えたり、喫煙、飲酒などが健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 健康な生活の学習において、「毎日を健康に過ごすにはどのような生活の仕方がよいのか」という課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「調べる・解決する」で事例を基に健康な生活の仕方について話し合い、「深める・伝える」で生活を見直した子どもがどのようにかわるのかを考え話し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ けがの防止の学習において、「交通事故はどうすれば防止できるのか」という課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「調べる・解決する」事例を基に危険と回避するための対策について考え、「深める・伝える」で交通事故を防ぐための環境整備の例から工夫されていることについて話し合うなど、自分の考えを広めたり深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 体の成長について学習した後、体の発育と個人差について考える活動を位置付け、思春期の体の変化の学習においても同様の学習活動ができるようになるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 不安や悩みへの対処について学習した後、相手に自分の気持ちや考えを上手に伝える活動を位置付け、自分から他者へと考える視野を広げられるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「健康な生活」は20ページ、「体の発育・発達」は21ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約55%増とな</p>			

	<p>っている。(判型はA4判)</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」は16ページ,「けがの防止」は28ページ,「病気の予防」は32ページであり,総ページ数は81ページで,前回より約59%増となっている。(判型はA4判)</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各項目末に学習内容と関連のある資料を掲載したり(全学年),学習に関連するデジタル教材の充実を図ったり(全学年)するなど,児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元のはじめに単元の目標や学習内容を示したり(全学年),課題の解決に結びつく視点などをキャラクターの吹き出し示したり(全学年)するなど,児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 健康についての考えや様子の変化を確認できるチェック表を掲載したり(第3,4,6学年),ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど,使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については,「学校や地域でのけがの防止」で地下鉄のホームドアの設置(札幌市)や「交通事故の防止」で道路の除雪(札幌市)の様子が写真掲載されている。 ○ ICTの活用については,動画やシミュレーションなど,児童の理解度を高めることをねらいとした無料のデジタルコンテンツを豊富に取り入れている。 ○ 小・中連携の指導については,資料として「ストレス」や「自転車安全利用五則」,「熱中症の予防と手当」「胸骨圧迫とAED」などを取り上げ,系統性のある指導ができるように配慮されている。
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠を明確にして説明することについては,終末に「まとめる・生かす」という振り返る学習活動を位置付け,学習したことを基に,さらに考えたり,意見やその理由を相互に表現したりする活動場面が多く設けられている。 ○ 日常生活との関連については,各単元の導入において児童の生活場面を想起させる写真やイラストを大きく配置し,児童が身近な例から健康課題を見付けることができるよう配慮がなされている。さらに終末では,学習したことを実生活で生かすことができる学習活動が設定されている。 ○ 新たな健康課題への対応については,「がん」,「パソコンやスマートフォンと健康」など,単元毎に今日的な健康課題に対応した情報を豊富に掲載している。
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		4・大日本	第3,4学年 第5,6学年	保健・302 保健・502	たのしいほけん3・4年 たのしい保健5・6年
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 次のような学習活動が取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「健康な生活」については、自分の1日の生活を振り返り、健康な生活の仕方について考えたり、身の回りの環境の整え方について考えたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現する。</p> <p>「体の発育・発達」については、1年生から4年生までの自分の身長の変化を調べたり、思春期における体の変化について調べたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現する。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」については、不安や悩みに関する自分の経験を振り返ったり、不安や悩みへの対処として呼吸法を行ったりする活動を通して理解し、簡単な対処をするとともに、課題を見付け、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。</p> <p>「けがの防止」については、予測される危険や安全な行動について考えたり、けがをしたときの行動について考えたりする活動を通して理解し、けがなどの簡単な手当をするとともに、けがを防止するために危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p>「病気の予防」については、病気になったときの要因について自分の経験を振り返ったり、喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について考えたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 健康な生活の学習において、「毎日を健康に過ごすにはどのような生活をすればよいのか」という課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「話し合ってみよう」で自分の生活の課題を解決するための方法を話し合い、「活用して深めよう」で事例の子どもの悩みを解決する方法を考え記述するなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ けがの防止の学習において、「犯罪被害から身を守るにはどうすればよいのか」という課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「やってみよう」で事例を基に予測される危険や犯罪被害を防ぐための安全な行動について考え、「活用して深めよう」で犯罪被害を含めた安全マップを作成するなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 1日の生活の仕方や健康により生活環境について学習した後、自分の生活を振り返る学習を位置付け、課題を発見し生活に生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 生活の仕方と病気の予防について学習した後、がんと生活習慣のかかわりについて考える活動を位置付け、学習内容を広げて知識を深められるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「健康な生活」は16ページ、「体の発育・発達」は17ページであり、総ページ数は37ページで、前回より約27%増となっている。(判型はA B判)</p>			

	<p>第5,6学年～ 「心の健康」は12ページ,「けがの防止」は16ページ,「病気の予防」は25ページであり,総ページ数は57ページで,前回より約16%増となっている。(判型はA B判)</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が単元の学習課題に気付くことができる「学習ゲーム」を掲載したり(全学年),学習に関連するデジタル教材の充実を図ったり(全学年)するなど,児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習の流れを示した教科書の使い方を掲載したり,(全学年),課題の解決に結び付くヒントなどをキャラクターの吹き出しで示したり(全学年)するなど,児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 健康や安全と自分の夢や目標とのつながりを伝えるページを掲載したり(第3学年),ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど,使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については,校区内の危険個所や地域で行われている保健活動とリンクさせて扱っているが,北海道関連の目立った資料は掲載されていない。 ○ ICTの活用については,パソコン画面のマークで活用場面が示されている。また,QRコードは表紙の裏に掲載されており,「たのしい保健ウェブ」のサイトを紹介している。 ○ 小・中連携による指導については,星(はってん)のマークで活用場面が示され,「中学校〇年で学習します。」という風に具体的に学習学年で提示している。
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠を明らかにした説明については,表現する力を育むことができるよう,「話し合ってみよう」「やってみよう」「活用して深めよう」という学習段階を踏み,最後に自分の考えを記入できるよう工夫がなされている。 ○ 日常生活との関連については,「活用して深めよう」の場面で,日常的な事柄や地域のことを扱い,日常生活の課題意識させ,解決させようとする工夫がなされている。 ○ 新たな健康課題の対応については,「しりょう」のマークで新しい学習課題を提示し,表やグラフ,写真や説明を交えて,正しく理解させる工夫がなされている。
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		207・文教社	第3,4学年 第5,6学年	保健・303 保健・503	わたしたちのほけん3・4年 わたしたちの保健5・6年
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「健康な生活」については、健康な生活を送るために大切なことを考えたり、1日の生活で自分が心がけていることを振り返ったりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現する。</p> <p>「体の発育・発達」については、自分の身長の変化や発育の仕方の違いについて調べたり、思春期における異性の友達との関わり方について考えたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現する。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」については、不安や悩みに関する自分の経験を振り返ったり、対処の方法について話し合ったりする活動を通して理解し、簡単な対処をするとともに、課題を見付け、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。</p> <p>「けがの防止」については、けがの場所や原因について考えたり、予測される危険や回避する方法について考えたりする活動を通して理解し、けがなどの簡単な手当をするとともに、けがを防止するために危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p>「病気の予防」については、自分が経験したことのある病気の原因について学習したことを基に考えたり、喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について考えたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 健康な生活の学習において、「健康な生活を送るためには、1日の過ごし方をどうすればよいのか」という課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「考えてみよう」で事例を基に体調が変化する理由を話し合い、「新しい自分にレベルアップ」で自分の生活を振り返り気を付けることを考え記述するなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 心の健康の学習において、「心の健康を保つにはどうすればよいのか」という課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「考えてみよう」で不安や悩みを抱えたとき、誰にどのような相談をすることができるのかを考え、「新しい自分にレベルアップ」で相談の仕方や受け方で大切なことを話し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 毎日の生活と健康について学習した後、健康に関する目標や理由を伝え合う活動を位置付け、目標を意識して健康な生活を送ることができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 喫煙の害について学習した後、たばこを勧められたときの対処を考える活動を位置付け、飲酒や薬物乱用の学習においても同様の学習活動ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「健康な生活」は16ページ、「体の発育・発達」は16ページであり、総ページ数は33ページで、前回より約32%増となっている。(判型はA4判)</p>			

	<p>第5,6学年～ 「心の健康」は12ページ,「けがの防止」は16ページ,「病気の予防」は24ページであり,総ページ数は53ページで,前回より約17%増となっている。(判型はA4判)</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習に関連する資料やホームページのアドレスを掲載したり(全学年),児童向けの豆知識を脚注に掲載したり(全学年)するなど,児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習内容に応じて「考えてみよう」や「調べてみよう」などの学習方法を提示したり(全学年),課題解決の視点等をキャラクターの吹き出しで示したり(全学年)するなど,児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 知ってほしい情報を「もっと知りたい」などのコーナーとして掲載したり(全学年),ユニバーサルデザイン等の観点から書体や文字の大きさを工夫したりするなど,使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については,特別な表記はなく,単元の中で,「地域の安全」と「地域の保健活動」として扱っている。北海道関連としては,28ページに発展の教材として自然災害の大雪を扱っている。 ○ ICTの活用については,ページの下欄にQRコードを掲載し,学習内容に関連するホームページにアクセスしやすい工夫がなされている。 ○ 小・中連携による指導については,配慮された記述は見られない。
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠を明らかにした説明については,自分の考えを記入できる枠が色々などところがあり,常に自分の考えをもって学習に臨めるよう,工夫がなされている。また,すぐそばにイラストの吹き出しがあり,子どもの理解度に応じた記述の手助けをする配慮がなされている。 ○ 日常生活との関連については,学習活動を3段階に分け,調べることを通して自分の考えをもち,日常生活の課題に結び付けるよう工夫がなされている。 ○ 新たな健康課題の対応については,「発展」の学習の中に,現代的な問題であったり,日常的な課題であったりするものを取り入れ,新たな健康課題に意識をもたせるよう配慮がなされている。
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		208・光文	第3,4学年 第5,6学年	保健・304 保健・504	小学ほけん3・4年 小学保健5・6年
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「健康な生活」については、健康な生活を送るために手や衣服などの汚れを調べたり、身の回りの環境の整え方について調べたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現する。</p> <p>「体の発育・発達」については、思春期における男女の体の変化を比べたり、体をよりよく発育させるための生活の仕方について考えたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現する。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」については、自分の経験や事例を基に心と体の関係について考えたり、不安や悩みへの対処の方法について話し合ったりする活動を通して理解し、簡単な対処をするとともに、課題を見付け、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。</p> <p>「けがの防止」については、けがや事故の原因について考えたり、危険を予測し、安全な行動の仕方について調べたりする活動を通して、理解し、けがなどの簡単な手当をするとともに、けがを防止するために危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p>「病気の予防」については、自分の生活を振り返り生活習慣病の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 健康な生活の学習において、「健康に過ごすためには身の回りの環境をどのように整えればよいのか」という課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「話し合おう」で部屋の明るさなど生活環境の大切さについて話し合い、「学んだことを生かそう 伝えよう」で事例を基に環境を整える方法を考え記述するなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 病気の予防の学習において、「むし歯などを予防するためにはどうすればよいのか」という課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「調べよう」でむし歯や歯周病の起こり方について調べ、「学んだことを生かそう 伝えよう」でむし歯を予防するために、今後の生活で気を付けることを考え記述するなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 体の清潔で手の汚れについては学習した後、汚れの洗い残しが多い箇所を考える活動を位置付け、学習したことを広げ、実生活に生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 交通事故の防止について学習した後、安全な行動の仕方について考える活動を位置付け、犯罪被害の防止の学習においても同様の学習活動ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「健康な生活」は16ページ、「体の発育・発達」は18ページ</p>			

	<p>ジであり、総ページ数は41ページで、前回よりも約41%増となっている。(判型はA4判)</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」は14ページ、「けがの防止」は18ページ、「病気の予防」は26ページであり、総ページ数は65ページで、前回より約33%増となっている。(判型はA4判)</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめに、単元で学習する内容をストーリー形式で示したり、(全学年)、学習に関連するウェブサイトの情報を掲載したり(全学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 考えを広げるための視点などをキャラクターの吹き出しで提示したり(全学年)、学習内容の理解を深める科学的な資料を掲載したり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 単元ごとに学習内容の確認や振り返りができる「学習のまとめ」を掲載したり(全学年)、基礎的・基本的事項は太字や色文字を使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、巻頭ページに2016年リオデジャネイロパラリンピック女子400mに出場した北海道七飯町出身の辻沙絵さんが健康のために気を付けていることを小学生向けのメッセージとして掲載し、保健学習への意識の高揚を図る配慮がされている。 ○ ICTの活用については、教育の情報化に対応できるように必要な箇所にQRコードを配置し、関連動画やコンテンツが気軽に見ることができる工夫がされている。 ○ 小・中連携の指導については、発展的な学習として「自転車に安全に乗るために」、「熱中症について」「心肺蘇生法」などを取り上げ、系統性のある指導ができる配慮がなされている。
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠を明確にして説明することについては、話し合っ考える活動や自分の考えを他者に伝えたり、説明したりする活動を豊富に取り入れている。更に理由を記述する場面も、設定されているなど根拠を明確にする配慮がされている。 ○ 日常生活との関連については、数枚のイラストから児童が自分の生活を振り返って自身の健康課題に気づき、終末では、学習したことを実生活や実社会で生かす実践力を養う活動場面が設定されている。 ○ 新たな健康課題への対応については、「食事の取り方」、「スクリーンタイム」、「性についての悩み」など今日的な話題を適切かつ豊富に取り上げる工夫がなされている。
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		224・学研	第3,4学年 第5,6学年	保健・305 保健・505	みんなのほけん3・4年 みんなの保健5・6年
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「健康な生活」については、2人の1日の生活の仕方を比べ、健康な生活の仕方について考えたり、実験結果を基に部屋の環境と健康について考えたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現する。</p> <p>「体の発育・発達」については、思春期に起こる体の変化や男女の違いについて調べたり、給食の献立を調べ、栄養のバランスについて考えたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現する。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」については、心と体が密接に関係している事例を基に自分の経験を振り返ったり、不安や悩みへの対処として呼吸法の実習をしたりする活動を通して理解し、簡単な対処をするとともに、課題を見付け、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。</p> <p>「けがの防止」については、けがや事故などの体験を振り返ったり、けがや事故を防ぐための工夫について調べたりする活動を通して理解し、けがなどの簡単な手当をするとともに、けがを防止するために危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p>「病気の予防」については、病原体が要因となって起こる病気の予防について調べたり、資料を基に喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して理解するとともに、課題を見付け、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 健康な生活の学習において、「部屋の明かりをつけたり、空気を入れ換えたりするのはなぜか」という課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「考える 調べる」で部屋の換気など生活環境の大切さについて話し合い、「まとめる 深める」で事例を基に教室や部屋の環境を整える方法を考え記述するなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 心の健康の学習において、「不安や悩みを抱えたときは、どうすればよいのか」という課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「考える 調べる」で不安や悩みを抱えたときに自分で行えそうな対処について調べ、「まとめる 深める」で仲間との話し合いの中で参考になった対処の方法を考え記述するなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 1日の生活の仕方について学習した後、数日間の自分の生活を記録し、振り返る活動を位置付け、学習したことを実生活で確かめることができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 不安や悩みへの対処について学習した後、体と心をリラックスさせる体験的な活動を位置付け、実感を伴って理解し、実生活に生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「健康な生活」は14ページ、「体の発育・発達」は18ページ</p>			

	<p>ジであり、総ページ数は37ページで、前回より約12%増となっている。(判型はA4判)</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」は14ページ、「けがの防止」は14ページ、「病気の予防」は25ページであり、総ページ数は57ページで、前回より約8%増となっている。(判型はA4判)</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめに学習内容や児童がもつ疑問の例を示したり(全学年)、学習に関連するウェブサイトの情報を掲載したり(全学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 教科書のはじめに学習の進め方を掲載したり(全学年)、学習内容に関連する職業に携わる人や専門家による解説を掲載したりする(全学年)など、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 単元ごとに学習の振り返りや学びを生かした取組ができる「ふり返る・深める・つなげる」を掲載したり(全学年)、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、「犯罪から身を守るために」で子ども110番(札幌市)や「喫煙の害」で禁煙制限区域(札幌市)のステッカーを写真で掲載している。 ○ ICTの活用については、教科書にマークやQRコードを配置し、インターネットやデジタル教材で学習を広げたり深めたりできるよう工夫がなされている。 ○ 小・中連携による指導については、がん教育や医薬品の正しい使い方などの発展的な学習内容を位置づけ、中学校の指導内容との系統性のある指導ができるよう配慮がなされている。
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠を明らかにした説明については、比べる、確かめる、話し合う(表現する)などの活動を学習内容に応じて適切に設定するなど、思考・判断・表現する能力を育む学習となるよう工夫がなされている。 ○ 日常生活との関連については、各項目末の「まとめる・深める」や章末の「ふり返る・深める・つなげる」で生活への活用を促す工夫がなされている。 ○ 新たな健康課題へ対応するために、運動領域とのつながり、安全に関する内容、心と体の個人差、がん教育、心の教育(いじめ)について取り上げ、正しい理解を深めるよう配慮がなされている。
<p>その他</p>	